

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

		管理No.	
施設の名称	中山公園	指定管理者	青山建設株式会社
所在地	山形県東村山郡中山町大字長崎5081番地	県担当課	村山総合支庁建設部都市計画課
指定期間	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日	(電話番号)	(023-621-8220)
検証期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日		

検証項目		指定管理者による自己検証		県(施設所管課)による評価・検証	
1 仕様書等に沿った管理・運営業務の履行状況					
① 管理・運営業務の履行状況		・維持管理水準書に基づき、適切に履行した。特に、グラウンド整備、清掃、緑地管理に関しては水準以上に行った。 ・設備の保守点検、清掃、雪囲、樹木・緑地等の管理を専門業者に委託することにより、年間を通して高い水準での管理ができた。 ・プロ野球、高校野球等の開催に当たっては、主催者と綿密な打ち合わせを行い、来場者の安全確保と適切な運営に努めた。また、公園遊具及び樹木の安全対策についても、県の指示に従い適切に行った。		評価	・評価の理由 ・グラウンド整備に関して、維持管理水準以上の管理・運営を行っている。 ・関係機関と連携して、県民のスポーツ活動、スポーツ観戦の場として支障なく運営している。 ・公園遊具及び樹木の安全対策など、利用者の安全性向上に向けた施設の補修を積極的に行っている。
② 管理・運営上の課題、問題点（改善すべきこと）		・野球場の完成から40年以上が経過し、施設全体の経年劣化が進んでいる。ひび割れや鉄筋の露出、施設全体の雨漏りを解消する必要がある。2階観客席の防水シートの更新は一部が残っており、鉄筋の露出部分については躯体工事が必要である。 ・環境問題と省エネに配慮し、ナイター照明のランプをLEDに更新する必要がある。また、従来のランプは生産が終了しているため、このままでは不点灯箇所を直せなくなる。 ・野球場スコアボードが2026年3月31日で製品サービスを終了するため更新が必要。		・課題等の原因分析 ・公園施設全体の老朽化が進んでいる。	
課題、問題点への今後の対応		・引き続き毎日の清掃と小規模修繕を実施し、利用者の安全確保と利便性の向上に努めていく。根本的な解決に向けて、県と連携し課題解決に取り組んでいる。 ・躯体工事は県が主導で積極的に推し進めている。指定管理者の立場からも各種大会等のスケジュールも含めて県と協議し、スムーズに計画が進行するよう協力していく。 ・ナイター照明のLED化、スコアボードの更新については、特にプロ野球の開催に関わることから、県と密に協議し、適切に進めていく。			
2 利用者からの要望等への対応					
① 意見・要望等及びその対応状況		・公園内トイレの経年劣化により、屋根の塗装がはがれ、景観が悪いという利用者の意見があった。雨漏りもあり、安全面からも県に対し予算要望を継続中である。 ・公園内及び施設内のトイレの洋式化を進めて欲しいとの意見がネット等の口コミに多い。 ・プロ野球、高校野球の運営に際し、公園内のWi-Fi環境整備の強い要望がある。現在は必要最低限の場所にもモデムから有線に対応している。また、各利用者にポケットWi-Fiを持参して頂いている。 ・冬期間の室内練習場利用者のための待機室は大変好評であり、平成26年度から継続して設けている。		評価	・評価の理由 ・利用者日誌等を活用し、利用者ニーズに応え適切な対応をしている。 ・利用者との日程調整を適切に行い、トラブル等がない。
意見・要望等への今後の対応		・今後も利用者日誌、アンケートにより意見回収を行うとともに、利用者との対話を積極的に行い情報収集に努めていく。 ・公園内のトイレに関しては、毎日の清掃と雨漏り・塗装の小規模修繕を継続して行い、利用者に少しでも気持ちよく使用して頂けるよう管理に努めていく。 ・また、洋式化にあたっては、県と十分協議し適切に進めていく。 ・好評を得ている取り組みに関しては、現状に甘えることなく、さらなるサービス向上のため工夫していく。			
3 指定管理者制度活用効果					
① サービスの向上		・午後8時までの利用申請受付を継続し、利用希望者の勤務後の来場申請を可能にしている。 ・ホームページを活用し、予約状況の情報を積極的に発信した。 ・腐葉土の無料配布を継続して行った。 ・こいのぼり設置、クリスマスイルミネーション等を行い、公園利用者の増加に貢献した。 ・維持管理水準書にはないが、冬期間でも、ウォーキング等を目的とした公園利用者が多くいるため、公園内園路を欠かさず除雪し、サービスの向上に努めた。 ・自主事業等に関して、プレスリリースを積極的に行い、情報の発信と中山公園のPRに努めた。		評価	・評価の理由 ・HPやSNSを活用して積極的に発信し、利用者の利便性向上に取り組んでいる。 ・季節ごとのイベント等により、利用者を楽しんでもらえるような取り組みを実施している。
② 経費の節減		・やまがたE00マネジメントシステムの環境方針に基づき、廊下や未使用諸室等の照明をこまめに消灯し、冷暖房の設定温度の調節など節電に取り組んだ。 ・小売電気事業者と新たに契約を結ぶことにより、電気料金的大幅な値下げに成功した。併せて、デマンド監視システムを導入することにより、節電に取り組んでいる。 ・簡易な修繕は、積極的に職員が対応している。 ・蜂の巣の撤去や害虫駆除等も可能な限り業者に依頼せず、職員が対応している。 ・資源ごみ、空き缶等は産業廃棄物として処分するのではなく、業者に依頼しリサイクルを行っている。		評価	・評価の理由 ・簡易な修繕等については、指定管理者が積極的に対応することで経費削減を行っている。 ・修繕等を計画的に行うことで、施設の劣化を防いでいる。 ・電力費の高騰に当たっての電力業者の変更等の状況に応じて体制を変更する経費削減に取り組んでいる。
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)		・シニアチームと子供たちとの交流戦は新聞に掲載された。 ・県内の保育園、幼稚園、小学校の社会科見学、中学生の職場体験学習等を積極的に受け入れ、地域社会と積極的に連携した。 ・県のふれあいの道路愛護事業に参加し、県道の美化活動に取り組んだ。 ・大学合宿を積極的に誘致し、地域の経済活性化に貢献した。		評価	・評価の理由 ・関係団体を誘致するなど、公園及び地域活性化の取り組みを積極的に行っている。 ・近隣の保育園や小・中学校と積極的に連携した。
総合的な評価		・グラウンド整備に関して、維持管理水準以上の管理を行い、サービスの向上に取り組んでいる。 ・各種スポーツ教室等の自主事業を通して、県民のスポーツ振興・地域の活性化に貢献している。 ・小規模修繕を積極的に行い、利用者サービスの向上に取り組んでいる。			

【評価指標】

- A：仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
- B：概ね適正に実施されている。
- C：部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
- D：仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注1）検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。

注2）県（施設所管課）による評価・検証については、具体的な事例や数値により、評価した点を分かりやすく記載すること。